

その他	言語事項										C 読むこと					B 書くこと					A 話すこと・聞くこと					学習指導要領の指導事項		2年
	(2) 漢字に関する事項		(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び 「C 読むこと」の指導を通して指導する事項																									
	イ 学年別漢字配当表の漢字のうち950字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	ア 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読むこと。	キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使えるようにすること。	カ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。	オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。	エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。	ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。	イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。	ア 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。	エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。	イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。	カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方 や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役 立てること。	オ 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得 力のある文章にすること。	エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠 を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。	ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にする こと。	ア 広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、 自分のものの見方や考え方を深めること。	エ 相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿っ て効果的に展開するように話したり聞き分けたり して、自分の考えを深めること。	ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の 効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注 意して、話したり聞き取ったりすること。	イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との 関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、 話したり聞き取ったりすること。	ア 広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、 自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたり すること。				
						◎				◎	◎		●											2 春に	1 心を開く	(話す・聞く)		
						◎					◎	★	◎											5 雨の日と青い鳥				
							◎																	1 〔言語①〕 対義語・類義語・多義語				
	○	◎					○																	1 〔漢字①〕 同じ訓をもつ漢字				
																									5 「聞く生活」を考えよう 目的に応じて聞く		★ ◎	
							○				◎	◎	◎	★	◎										6 文化を伝えるチンパンジー			
				◎	◎																			1 〔文法の広場①〕 単語の分け方	2 真実を探る			
	○	◎					○																	1 〔漢字②〕 同じ音をもつ漢字				
														◎	●	◎	◎	◎						6 人物紹介パンフレットを作ろう 情報を編集する		(書く)		
							◎		◎		◎		◎											2 短歌を味わう		豊かな言葉		
目標 (3)										◎	◎		◎											2 ゼブラ	本の世界を広げよう			
									◎															読書案内				
									◎	◎	●		◎	●			◎							2 読書活動 読書紹介をする				
							◎	◎		◎	◎		◎					◎	◎					5 盆土座 印象的な一場面を書こう	3 人間のきずな			
						○				◎	◎													3 字のないはがき				
			◎																					2 〔言語②〕 方言と共通語				
	○	◎																						1 〔漢字③〕 複数の読み方をする漢字				

◎印は、その単元・教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる指導事項。
○印は、主たる学習場面はほかにあるが、そこで学習することで、主たる学習場面での学習を支えたり定着させたりすることが望まれる指導事項。
●印は、学習経験として蓄積させる指導事項。
★印は、その単元や教材に位置づけられた「学習の窓」(P3参照)と指導事項との関連を示した。

その他	言語事項										C 読むこと					B 書くこと					A 話すこと・聞くこと					学習指導要領の指導事項		2年	時数・教材名・単元名
	(2) 漢字に関する事項		(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び 「C 読むこと」の指導を通して指導する事項																										
	イ 学年別漢字配当表の漢字のうち950字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ア 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読むこと。	キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使えるようにすること。	カ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。	オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。	エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。	ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。	イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。	ア 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。	エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。	イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。	カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること。	オ 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。	エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。	ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。	ア 広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。	エ 相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。	ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。	イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。	ア 広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。					
言語事項 1年(1)ア						●														◎	◎	★	◎	◎	5	提案のしかたを工夫しよう プレゼンテーション	(話す・聞く)		
							◎		◎		◎	◎		●												1	音読を楽しもう 枕草子	4 古典に親しむ	
				●				○			◎	◎		●												3	扇の的 ―「平家物語」から―		
						◎			◎		◎	◎														2	仁和寺にある法師 ―「徒然草」から―		
								○			◎	◎		●												2	漢詩の風景		
	○	◎																								1	〔漢字④〕 漢字を分解して考える		
					○						◎	◎	◎	★	◎											4	モアイは語る ―地球の未来	5 事実と意見	
						◎									◎	◎	★	◎	◎	○						5	根拠を明らかにして書こう 意見を伝える		
				◎	◎																					2	〔文法の広場②〕 自立語のいろいろ		
	○	◎																								1	〔漢字⑤〕 熟語の成り立ち		
目標(3)									◎	○	◎	◎																五重の塔はなぜ倒れないか	本の世界を広げよう
									◎																		2	読書案内	
									◎																			読書活動 情報を検索する	
							◎			◎	◎	★		◎													5	走れメロス	6 生きる姿
						●									◎	◎		◎	○	◎						5	視点を変えて書こう 新たな自分を発見する		
				◎																						2	〔文法の広場③〕 用言の活用		
	○	◎		●																						1	〔漢字⑥〕 送り仮名		
			○			◎									◎	◎		◎	◎	◎	○	◎	★	◎	◎		7	小さな「物語」を探る インタビューで取材する	7 広がる言葉
						○			◎	◎	◎																	【関連教材】 補助犬とともに	
							◎		◎	◎			◎													2	言葉の力		
				◎	◎																							文法 ①単語の分け方 ②自立語のいろいろ ③用言の活用	巻末教材
	◎						○																					漢字に親しもう 小学校六年生で学習した漢字	

◎印は、その単元・教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる指導事項。
○印は、主たる学習場面はほかにあるが、そこで学習することで、主たる学習場面での学習を支えたり定着させたりすることが望まれる指導事項。
●印は、学習経験として蓄積させる指導事項。
★印は、その単元や教材に位置づけられた「学習の窓」(P3参照)と指導事項との関連を示した。